

ワークスタイルを ITが変える

グローバル化、経済状況の目まぐるしい変化など、変化の激しいビジネス環境に対応していくためには、「ホワイトカラーの生産性向上」が欠かせません。しかし、日本のホワイトカラー1人当たりの生産性は世界的にも低く、それを長時間労働が補っているという実態があります。そのような中で求められているのは、近年急激に進化するIT機器を活用した「ワー

クスタイル変革」による生産性向上です。

そこで、『日経ビジネスアソシエ』では、ICTを活用したワークスタイル変革を紹介する年4回の広告企画シリーズを実施します。『日経ビジネスアソシエ』の主要読者である次世代を担う若手ビジネスリーダーに対し、御社のソリューションの魅力を訴求できる絶好の機会です。ぜひこの機会に、本企画へのご参加をご検討ください。

広告企画特別料金

4色1ページ
純広告

定価100万円のところ ➡ **90万円(税別)**

4色2ページ
タイアップ

定価260万円のところ ➡ **180万円(税別)【制作費込み】**

※遠方取材別途交通費が必要です。

スケジュール

発行号	発売日	申込締切日	オフラインデータ 締切日	オンラインデータ 締切日
7月号	6月10日(水)	5月7日(木)	5月26日(火)	5月28日(木)
10月号	9月10日(木)	8月4日(火)	8月26日(水)	8月28日(金)
2016年1月号	12月10日(木)	11月6日(金)	11月25日(水)	11月27日(金)
2016年4月号	3月10日(木)	2月3日(水)	2月23日(火)	2月25日(木)

6月発売
・
12月発売

進化するデバイス

Device

自在なコミュニケーションを可能にするためには、ソフトウェアだけでは不十分。使いやすいデバイスも重要だ。いつも持ち歩ける軽さと持ちやすさを備え、用途に合わせて必要な機能をストレスなく使えなければ、業務には使えない。

その意味で、データの閲覧ならスマートフォンやタブレットが最適。大きさは、業務上必要となる情報量で決まる。一方、複雑な入力作業や編集作業をする必要があるなら、キーボードを装着できるスレート

PCや2in1 PCなどが適している。

一方使い慣れた自分の端末を使いたいというニーズも増えており、BYODという選択もある。BYODは、端末コストなどが安く上がるというメリットがあるが、情報の扱いに注意が必要。コンテナなどで隔離できるモバイル管理システムを利用することが望ましい。

業務やコスト、管理性など多面的に検討し、最適なデバイスを選ぶ必要がある。

対象製品・サービス

スマートフォン、タブレット、スレートPC、モバイルPC、セキュリティソリューション、プラットフォームサービス、モバイル管理システム、スマートフォン/タブレット関連ソフトウェア・サービス、プロジェクター、ウェアラブルデバイス、ICレコーダー、電子辞書 など

9月発売
・
2016年
3月発売

変わるワークスタイル WorkStyle

より効率的で新しい発想を生み出す働き方を求めて、在宅勤務、フリーアドレス有りなど、ワークスタイルが変化している。このような新しい働き方を可能にしているのが、さまざまなIT機器やサービスである。

たとえば、スマートフォンやタブレット、タブレットとしてもPCとしても使える2in1 PCなどのモバイルデバイス、遠隔地との臨場感のある会議を可能に

するビデオ会議、社内人脈を広げそれぞれの持つナレッジをシェアすることで、豊かな発想を生み出す可能性を秘めた社内SNS、どこからでもつながって、さまざまなサービスを受けられる各種クラウドサービスなどだ。これらの機器やサービスを活用することで、場所や時間を問わない効率のよい働き方が可能になり、プライベートも充実することで、よりよい発想にもつながるはずだ。

対象製品・サービス

名刺管理システム、ビデオ会議システム、グループウェア、ナレッジマネジメント、社内SNS、コラボレーションツール、電子決裁、ワークフロー、スマートフォン、タブレット、スレートPC、モバイルPC、セキュリティソリューション、プラットフォームサービス、スマートフォン/タブレット関連ソフトウェア・サービス、VPN、各種クラウドサービス など

読者アンケート

調査対象：日経ビジネスアソシエ購読者、日経ビジネスオンライン登録者から20,30代の有職者を一部抜粋
調査期間：2013年7月 調査実施：日経BPコンサルティング

Q. 今後、伸ばしたい／一層強化したいと思うスキルや能力は？

A. IT知識



Q. 現在の勤務先であなたが担う役割・立場は？

A. プロジェクトで中心的な役割が多い



Q. 職場で利用する製品・サービス全般の購入・導入について、あなたの関わり方は？

A. 購入・導入を検討・提案する



お問い合わせ

日経BP社 経営情報広告部

〒108-8646 東京都港区白金1-17-3 NBFプラチナタワー

TEL:03-6811-8031 FAX:03-5421-9191 MAIL:b-ad@nikkeibp.co.jp

Nikkei BP AD Web <http://adweb.nikkeibp.co.jp/>